

EarthFinder
MarketFinder@sp
オリコミタウンハイブリッド版
Ver3.8 追加／改修機能のご紹介

2013/02/12

目 次

1 はじめに	1
2 交通センサデータの利活用	2
3 分布商圈エリア作成.....	4
4 マーケットレポート一括作成機能	5
5 オリジナルレポート作成.....	6
6 その他の機能.....	8
6.1 プロットにエリア属性値を取り込む	8
6.2 店舗相関分析データ機能に「相関分析レポート」の出力を追加.....	8
6.3 現在の表示状態を保存と復元	9
6.4 システムフォルダを開く.....	9

1 はじめに

本書では、EarthFinder Ver3.8 で追加／改修した機能の紹介を行います。

EarthFinder の ASP サービス版である「MarketFinder@SP」、オリコミタウンに MarketFinder の機能が追加された「オリコミタウンハイブリッド版」も、同じ GIS エンジンを利用していますので、ここで紹介する機能が適用されます。

文書中では「EarthFinderVer3.8」と記載しますが、「MarketFinder@SP」「オリコミタウンハイブリッド版」のユーザの方は適宜お読み替え下さい。

EarthFinderVer3.8 では以下の機能を追加／改修しました。

○ 交通センサスデータの利活用

現状でも「属性」機能で、全国デジタル道路地図(DRMA)に入っている交通センサス情報を地図上の道路をクリックすることで見ることができますが、今回のバージョンアップでは、複数の道路のセンサス情報を一覧表示したり、交通量などで道路を塗り分け表示できるようになりました。

○ 分布商圈エリア作成機能

スパイダー表示機能を拡張して、店舗を中心として顧客の 80%以上が存在しているエリア、売り上げの8割を占めるエリア等を作成できるようになりました。

○ マーケットレポート一括作成機能

マーケットレポート作成で、複数の店舗プロットやエリアを指定して、一括でレポートを出力できるようにしました。

○ オリジナルレポート作成機能

現在提供している既定のマーケットレポートに加えて、ユーザが Excel のテンプレートと、集計する指標を定義したファイルを用意して、オリジナルのレポートを作成できるようになりました。

(MarketFinder@SP では、オプション契約で利用できる機能となります。)

○ その他

その他、以下の機能が追加されています。

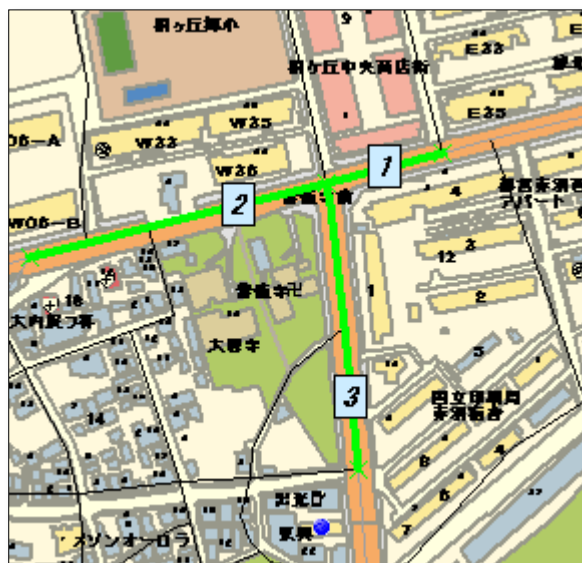
- ・ プロットにエリア属性値を取り込む機能
- ・ 店舗相関分析データ機能に「相関分析レポート」の出力を追加
- ・ 現在の表示状態を保存と復元
- ・ 「システムフォルダを開く」機能

2 交通センサデータの利活用

現在1つ1つの道路をクリックしてその属性情報を見る機能を「属性」メニューで提供していますが、これに加えて、

- ・ 円で指定された領域内のセンサ情報一覧を表示
 - ・ 交通量によって道路の線色・線幅を変えて表示
- することができるようになります。

【指定された領域内のセンサ情報一覧を表示】



交通センサ表示

選択方法

☒ 道路をクリックする
 ☒ 複数地点選択

☐ 円で指定する

地図上で円の中心をクリックしてください
(半径の最大は500 m 迄です)

センサ値

	No.	12時間交通量	ピーク時旅行速度
<input checked="" type="checkbox"/>	1	7300 台	17.5 km/h
<input checked="" type="checkbox"/>	2	7300 台	13.0 km/h
<input checked="" type="checkbox"/>	3	8700 台	25.5 km/h

選択地点を削除

クリア

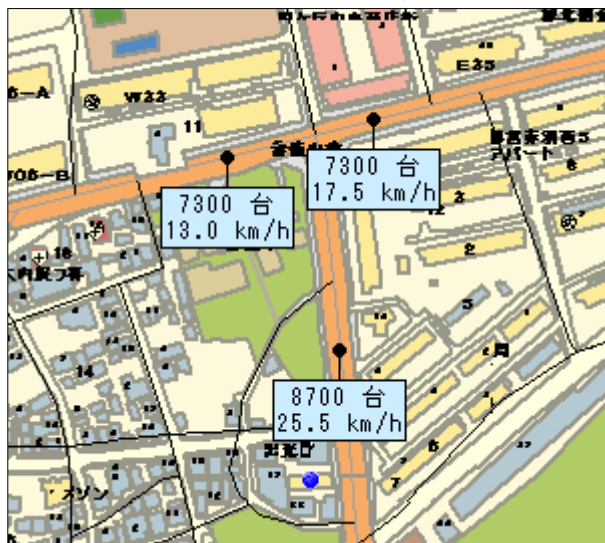
プリントとして保存

Excelに保存

地図および一覧表は Excel に出力することができます。

No.	12時間交通量	ピーク時旅行速度
1	7300 台	17.5 km/h
2	7300 台	13.0 km/h
3	8700 台	25.5 km/h

また、プロットとして保存することで、12 時間交通量やピーク時旅行速度をラベルとして表示することも可能です。

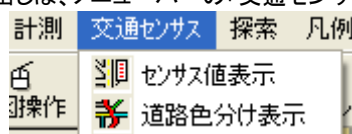


【交通量によって道路の線色・線幅を変えて表示】

「12 時間交通量」や「旅行速度」で DRMA 道路の線色、線幅を変更して表示します。

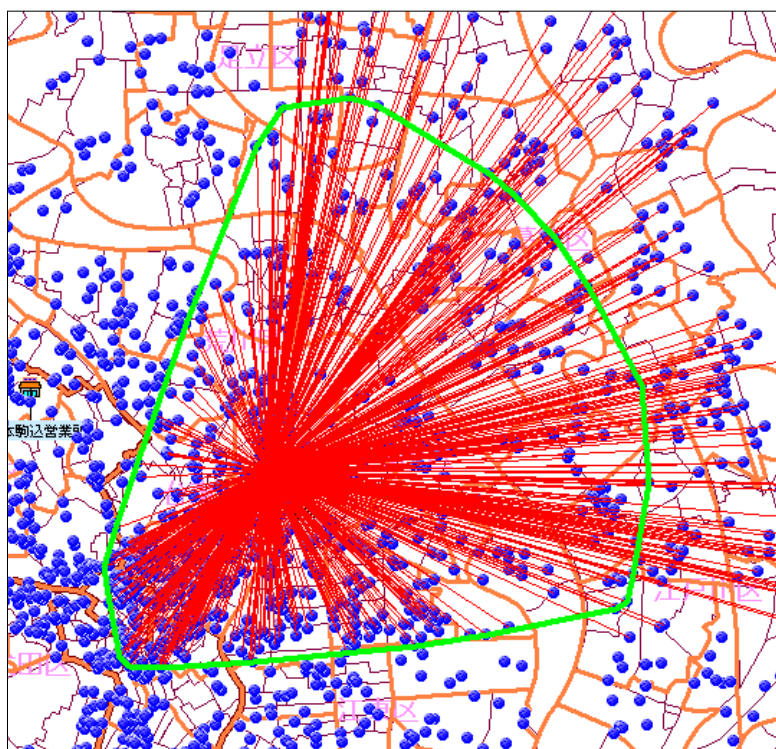


これら交通センサス利活用の機能の呼び出しは、メニューバーの「交通センサス」から行います。



3 分布商圈エリア作成

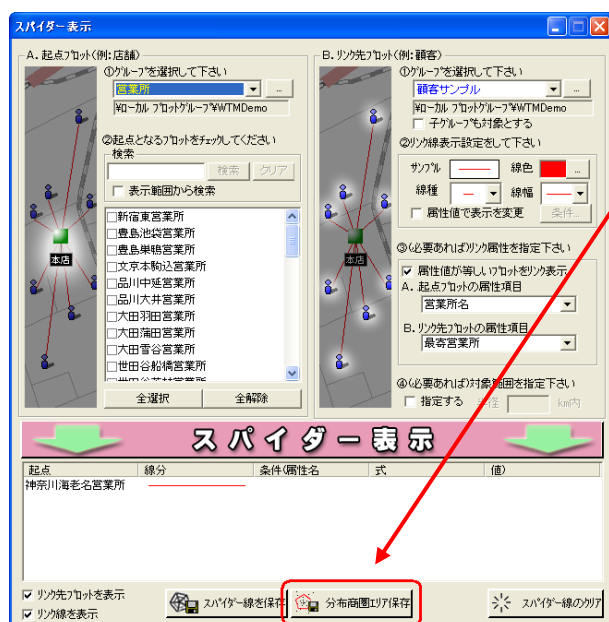
Version3.7 では中心プロットと周辺のプロット(例えば店舗と顧客)を線分で結んで地図上に示す「スパイダー表示」機能を提供しました。Version3.8 では、スパイダーによる顧客の分布状況を、分布商圈エリアとして保存することができるようになりました。



【顧客数の 80%をカバーするエリア】

分布商圈エリアの作成条件は、上図の例のように、全顧客を店舗からの距離の近い順に並べ、総数の xx%もしくは顧客プロットの属性(例えば「売り上げ」があるとしたら、総売り上げ)の xx%といった指定ができます。

顧客プロットを店舗との直線距離の短い順に並べ、指定された xx%をカバーするプロットを得ます。そのプロット全体を含む最小の凸多角形を空間演算で作成したものが分布商圈エリアとなります。



ここで作成した分布商圈エリアは、EarthFinder のエリアとして保存されるので、統計データを使って、商圈の統計値按分集計を行うことが可能です。

分布商圈エリア作成機能は、スパイダー機能の「分布商圈エリア保存」から呼び出します。

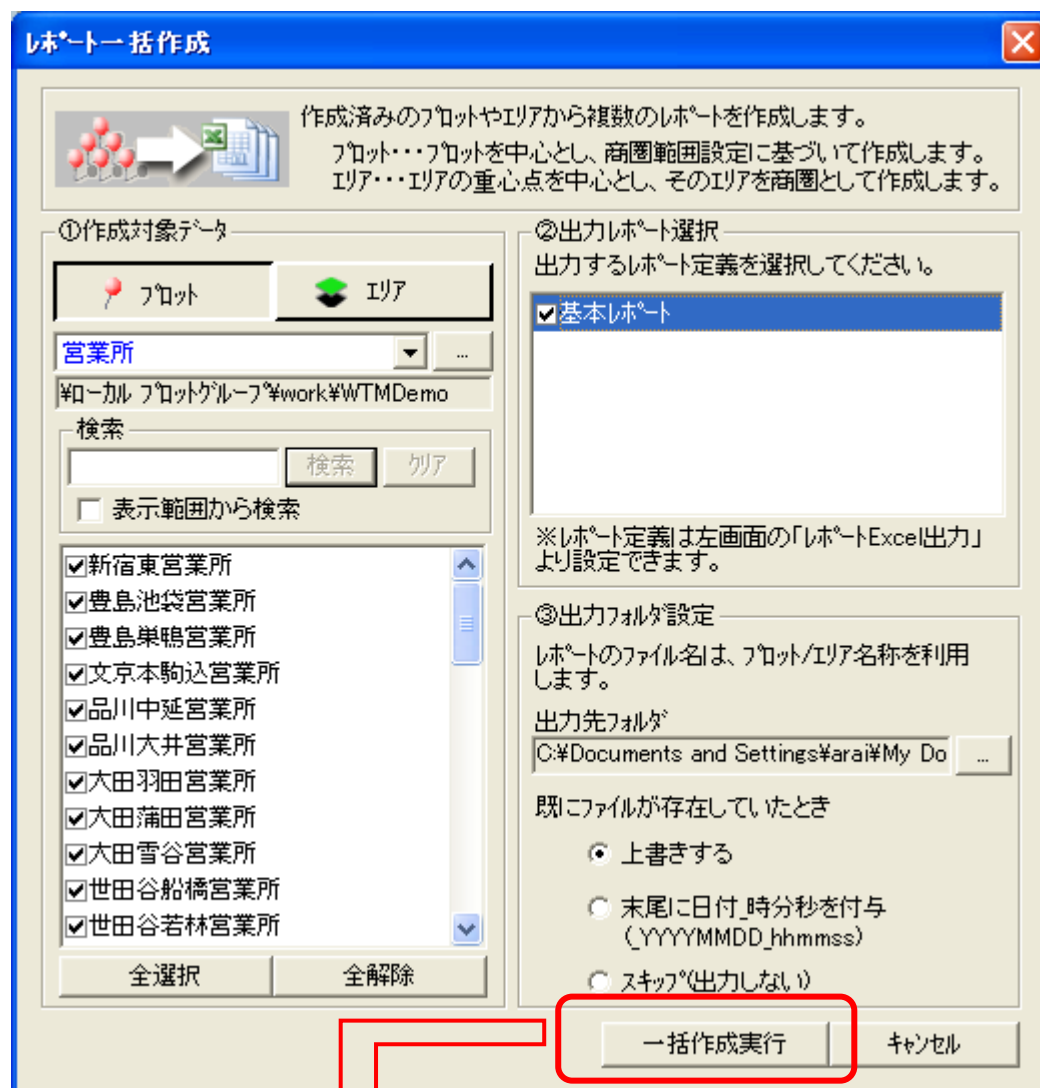
なお、スパイダー機能の呼び出しは、プロットパネルの「プロット機能▼」-「スパイダー表示」もしくは、グループツリーでのマウス右クリックメニュー「スパイダー表示」から行います。

4 マーケットレポート一括作成機能

現行のマーケットレポート作成機能は、地図上で調査地点をクリックすることで行い、指定できる調査地点は最大5個までとなっています。

Version3.8 では、作成済みのプロットやエリアを指定してマーケットレポートを作成することができるようになります。この場合、一度に連続して作成できる数の上限はありません。(ただし、一括作成では「調査地点比較」シートは出力されません。)

この一括作成機能は、EarthFinder が標準で提供しているマーケティングレポートに適用できるほか、次に述べる「オリジナルレポート」についても一括作成を行うことが可能です。



【レポート一括作成画面】



商圈範囲や、競合店の設定は、標準のマーケティングレポートを作成する際に設定したものが使われます。

5 オリジナルレポート作成

マーカーレポートに搭載している指標は、すべてのユーザー様にお使いいただけるよう、国勢調査、商業統計、事業所統計などから代表的な指標を網羅的に集めたものです。

Version3.8 では、あらかじめプリセットされたこの標準レポート以外に、ユーザーが自分で Excel のテンプレートを用意し、集計する指標を定義することで、オリジナルのレポートを作成することができるようになりました。これにより標準のマーケティングレポートと同等の表現力をもったオリジナルレポートが自由に作成できます。

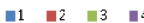
オリジナルレポート作成機能は、MarketFinder などの ASP サービスではオプション契約となります。


定義ファイル
 [Stats]
 ChomeItemCount = 5
 ChomeItem1 = 統計データ#12 推計年収階級別世帯数5段階_世帯数_年収300万円未満_世帯数0.0,0.0
 ChomeItem2 = 統計データ#12 推計年収階級別世帯数5段階_世帯数_年収300万円～500万円未満_世帯数1.0,0.0
 ChomeItem3 = 統計データ#12 推計年収階級別世帯数5段階_世帯数_年収500万円～700万円未満_世帯数2.0,0.0
 ChomeItem4 = 統計データ#12 推計年収階級別世帯数5段階_世帯数_年収700万円～1000万円未満_世帯数3.0,0.0
 ChomeItem5 = 統計データ#12 推計年収階級別世帯数5段階_世帯数_年収1000万円以上_世帯数4.0,0.0

 [Sheet1]
 ・書き込むデータ (セル位置、集計レベル、指標番号)
 ・集計レベルは、L1…1次商圏集計値、L2…2次商圏集計値、L3…3次商圏集計値、C…市区町村集計値、P…都道府県集計値、のいずれか
 ・指標番号は、L1～L3の場合はChomeItem_X、Cの場合はCityItem_X、Pの場合はPrefItem_Xの中から選択
 CellCount = 5
 Cell1 = F28:L1
 Cell2 = F28:L1.2
 Cell3 = F31:L1.3
 Cell4 = F31:L1.4
 Cell5 = F32:L1.5


テンプレート

データ名	商圏内	値	割合 (%)
年収別世帯数	300万円未満		#DIV/0
	300万円～500万円未満		#DIV/0
	500万円～700万円未満		#DIV/0
	700万円～1000万円未満		#DIV/0
	1000万円以上		#DIV/0





データ名	商圏内	値	割合 (%)
年収別世帯数	300万円未満	338	23.2
	300万円～500万円未満	389	26.7
	500万円～700万円未満	283	19.4
	700万円～1000万円未満	258	17.7
	1000万円以上	189	13.0



■ 300万円未満
■ 300万円～500万円未満
■ 500万円～700万円未満
■ 700万円～1000万円未満
■ 1000万円以上

定義ファイルには以下の要素を指定することができます。

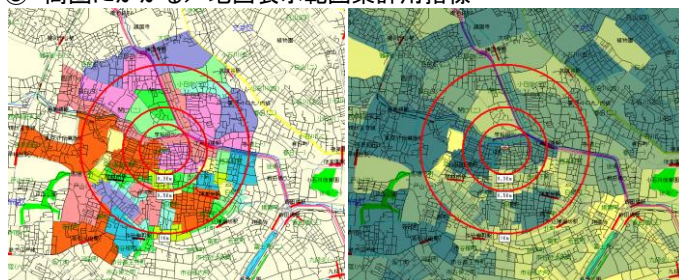
【統計指標(集計)】

- ① 商圏内集計用指標
- ② 調査地点位置の市区町村、都道府県の集計値用指標

	① 世帯数			②	
	1次商圏	2次商圏	3次商圏	千代田区	東京都
総世帯数	1,047	2,937	11,554	20,518	5,747,460
単身世帯	417	1,213	5,441	10,014	2,444,145
2人以上世帯	630	1,724	6,113	10,504	3,303,315
核家族世帯	581	1,574	5,537	9,268	2,928,181
親族世帯	624	1,704	6,022	10,377	3,247,735

→集計する統計指標と集計結果を転記するセルを指定します。

③ 商圏にかかる／地図表示範囲集計用指標



→地図上に界面グラフとして表示する統計指標を指定します。

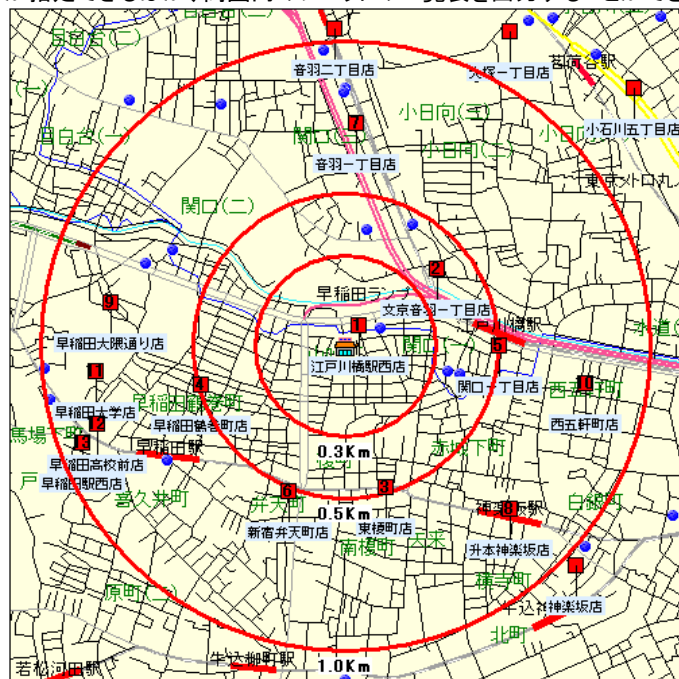
【プロットグループ】

地図上に表示するプロットグループを指定できます。

グループごとに、

- ・ 名称表示 On/Off
- ・ ナンバリング On/Off

が指定できるほか、商圈内のプロットの一覧表を出力することができます。



No	チェーン名	店名	住所	直線距離(m)
1	店舗	江戸川橋駅西店	東京都文京区関口1-44-10	81
2	店舗	文京音羽一丁目店	東京都文京区音羽1丁目1-1	391
3	店舗	東横町店	東京都新宿区東横町5	481
4	店舗	早稲田鶴巻町店	東京都新宿区早稲田鶴巻町519	490
5	店舗	関口一丁目店	東京都文京区関口1-19-6	502
6	店舗	新宿弁天町店	東京都新宿区弁天町21	511
7	店舗	音羽一丁目店	東京都文京区音羽1-20-11	729
8	店舗	升本神楽坂店	東京都新宿区矢来町113	755
9	店舗	早稲田大隈通り店	東京都新宿区西早稲田1-8-22	784
10	店舗	西五軒町店	東京都新宿区西五軒町9-2	790
11	店舗	早稲田大学店	東京都新宿区西早稲田1-6-1	824
12	店舗	早稲田高校前店	東京都新宿区馬場下町62-13	852
13	店舗	早稲田駅西店	東京都新宿区馬場下町9	919

【地図】

シート上に複数の地図画像を貼りつけることができます。表示する地図の範囲は、一次商圈／最も大きい商圈／地図高さでの指定から選択することができます。



(一次商圈を指定)



(最外商圈範囲を指定)



(マップ高さ 10 kmを指定)

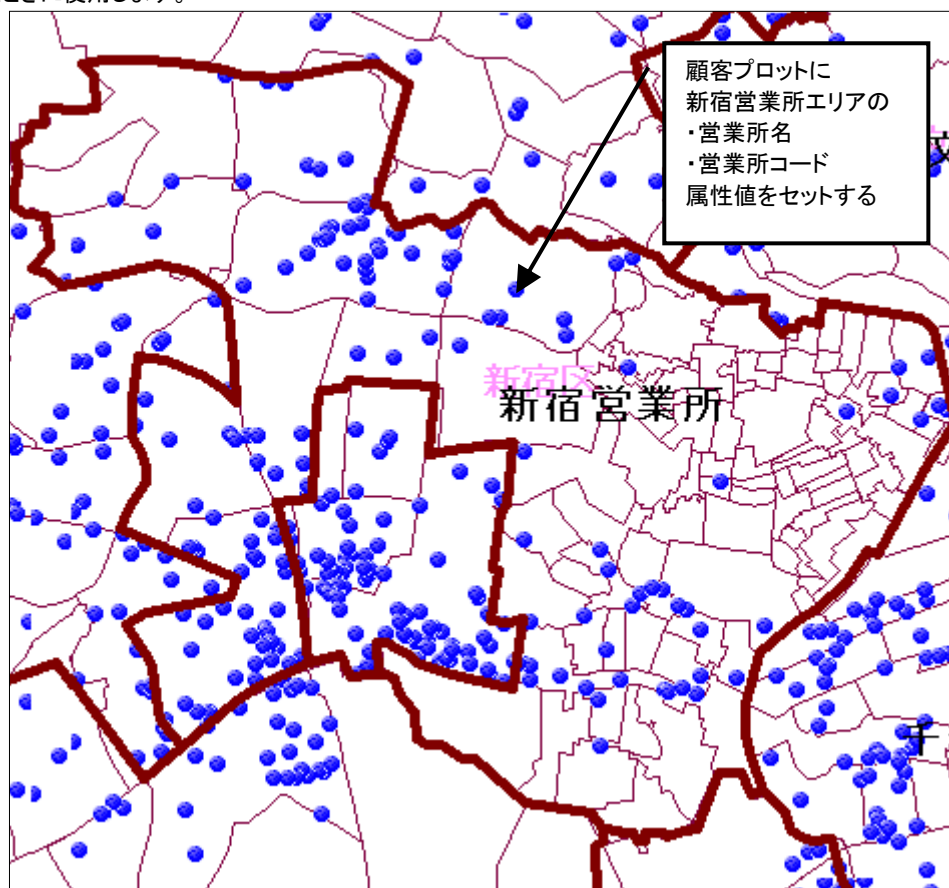
6 その他の機能

Version3.8 でその他に追加した機能としては以下があります。

- ・ プロットにエリア属性値を取り込む機能
- ・ 店舗相関分析データ機能に「相関分析レポート」の出力を追加
- ・ 現在の表示状態を保存と復元
- ・ 「システムフォルダを開く」機能

6.1 プロットにエリア属性値を取り込む

プロットがある位置のエリアの属性値をプロットの属性として取り込みます。例えば営業所のテリトリーエリアに営業所コードが付けられているとき、営業所テリトリー内の顧客プロットに対して営業所コードを付与する、といったときに使用します。



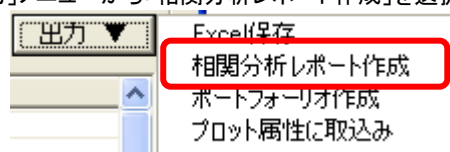
「エリア属性値取込み」機能の呼び出しは、プロットパネルのグループツリーでグループを選択し、マウス右クリックメニュー「エリア属性取込み」から行います。

6.2 店舗相関分析データ機能に「相関分析レポート」の出力を追加

集計実行後に出力できる資料として、「相関分析レポート」を追加しました。

店舗の売り上げと商圈の各種集計値(統計データ)との関連を容易に分析することが可能になります。

店舗相関分析実行後の「出力」メニューから「相関分析レポート作成」を選択して下さい。



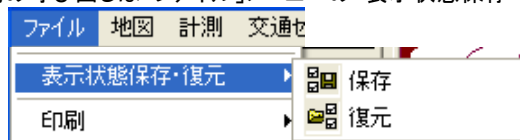


6.3 現在の表示状態を保存と復元

EarthFinder は終了時に表示していたプロット、エリア、および地図の中心位置および縮尺を保存し、次回起動したときにその状態を復元しています。

Version3.8 では、1台のPCで複数の方が EarthFinder を使用されている場合を考慮して、任意の時点で上記の表示状態を名前を付けて保存し、これを復元できるようにしました。加えて、グラフについても保存・復元を行います。

機能の呼び出しは「ファイル」メニューの「表示状態保存・復元」から行います。



6.4 システムフォルダを開く

本システムの設定ファイル等が格納されたフォルダをエクスプローラで開く機能です。

ASP 版 (MarketFinder@SP) では、Microsoft のアプリケーション配布の仕組み(クリックワンス)を使っているため、設定ファイルが非常に深い位置に作成されます。

例) C:\Documents and Settings\KKC\Local Settings\Apps\2.0\OQRKK409.2YW\201C00XW.WYE\mark..
tion_a272b3cee651c025_0001.0000_22cd93d5f754bd9f

操作のお問い合わせ時に、弊社から設定ファイルを確認させていただきときのご利用を想定した機能です。

機能の呼び出しは「ファイル」メニューの「システムフォルダを開く」から行います。

以上